

令和7年

第7回岩沼市教育委員会（定例会）

会議録

1. 招集日時 令和7年7月24日（木）午後1時30分
2. 招集場所 岩沼市役所 6階 研修室A
3. 出席委員 及川浩市・南館公雄・山田芳弘・江里美穂子
4. 欠席委員 木村紀子
5. 説明のために出席した者
 - 教育部長兼市民図書館長事務取扱 遠藤 大輔
 - 参事兼学校教育課長 一丸 孝博
 - 生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長 渡辺 里美
6. 傍聴者 なし
7. 本委員会の書記
 - 学校教育課課長補佐兼教育総務係長 山下 真理子
8. 開会 午後1時30分
9. 閉会 午後2時40分
10. 会議録署名委員
 - 江里美穂子・及川浩市
11. 会議録の承認
 - 承認（令和7年6月12日定例会）

及川教育長

令和7年第7回岩沼市教育委員会定例会を開会いたします。

2番目の会議録の承認でございます。令和7年6月12日第6回定例会の会議録について、訂正箇所等がありましたらお願いします。

各委員

訂正はありません。

及川教育長

それでは、このとおり保管させていただきます。

本日の会議録署名委員ですが、今回は江里委員と私が担当させていただきます。

事務局から事務報告をお願いします。

遠藤教育部長兼市民図書館長事務取扱

それでは、私から3点御報告申し上げます。

1点目、令和7年第2回市議会定例会についてです。会期は6月17日から6月26日まで開催され、教育委員会に関わる議案含む全ての案件が原案のとおり可決されました。議案の主な内容は、岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第2期）に関する工事請負契約の締結、令和6年度岩沼市一般会計補正予算（第8号）、令和7年度岩沼市一般会計補正予算（第2号）などです。

一般質問については、今回は12名中10名が教育に関する質問をされ、例年にない教育委員会一色の様相を呈しました。議員の皆さんが関心を寄せている内容について、順に御報告いたします。

沼田健一議員からは、地方創生総合戦略で示した「学校を核とした教育機会の充実」で列挙した各種取組について、前戦略での反省点と今後の具体的な取組について質問がありました。前の総合戦略に基づく各種取組の検証や実績などを踏まえ、丁寧に答弁いたしました。

岡田みつえ議員からは、児童生徒や保護者が各節目で感じる不安やストレス、小1の壁、小1プログラム、中1ギャップ、高1クライシスなどの課題への支援方針について質問がありました。特に「放課後児童クラブの朝時間帯への拡充」について提案をいただきましたが、現時点では十分なニーズが認められないため対応予定はないと答弁いたしました。また、玉浦地区での小中一貫教育の提案については、メリット・デメリットを考慮した結果、現段階では必要性は高まっていないとし、現行の小中連携を強化・充実していく方針を示しました。

植田美枝子議員からは、コミュニティ・スクール導入について、いずれ成果や効果が持続可能なまちづくりへの波及が期待できるとして、指摘をいただきました。教育委員会としては、地域の教育力向上や活性化につながるなどの肯定的な認識を示しました。一方、市長からは「国が考える新しい仕組みが、そのまちにとって必ずしも良いものであるとは限らない。ましてや、専門外であるはずのまちづくりについて文科省が論じるのはどうなのか」との懐疑的な認識も示されました。

西塚秀市議員からは、イングリッシュ・キャンプに関する本市の後援の状況について質問があり、令和7年6月9日付で後援名義使用承認を取り消したこと、及び本市の同名イベントを「イングリッシュ・デイ」に名称変更したことを報告しました。

渡辺ふさ子議員からは、性教育の指導状況、生理の貧困対策として女子トイレ各個室への生理用品配備、市独自の給食無償化について要望がありましたが、市の見解と一致せず、要望には沿いかねる旨を答弁しました。

佐藤剛太議員からは、人口減少に伴う学校の将来的な統廃合や学区見直し、教育系施設の複合化

の必要性について検討すべきとの指摘がありました。市としては、総合戦略に基づく人口減少対策に取り組むこととしており、現時点で統廃合などの見通しはないと答弁しました。

佐藤一郎議員からは、竹駒神社の馬事博物館所蔵の伊達政宗騎馬石膏像が市の有形文化財に指定されたことを受け、市の魅力発信のアイテムとして積極的に活用してはどうかとの提案があり、前向きに検討する旨を答弁しました。

高梨明美議員からは、APD（聴覚情報処理障害）、LiD（聞き取り困難症）の理解促進に向けた対応強化の提案があり、教育委員会事務局の職員が研修会に参加し、対象児童生徒の情報を確認次第、支援のあり方を検討すると答弁しました。

長田忠広議員からは、教育委員会が本年4月にリリースした「自立した学習者の育成を目指して」に掲載した項目に関する取組状況、方針、スタッフの配置などの推進体制、学びの多様化への対応方針に至るまで、多岐にわたり質問があり、丁寧に答弁しました。また、移住定住促進につながる教育支援策のパッケージ化の提案については検討する旨を答弁しましたが、パッケージ化を先行する「子ども・子育て支援パッケージ」のような直撃的な経済支援は困難であり、現行施策の見せ方を魅力的に映るよう工夫していく方針です。さらに、コミュニティ・スクールについても質問があり、先の市長答弁との差異について確認される場面もありました。玉浦地区で進行中の取組はあくまで試行段階であり、現行の取組をまずはしっかりと実践しつつ、メリット・デメリットを見極め、全市展開の可否を判断していくと答弁しました。

布田恵美議員からは、水泳授業について、老朽化したプール施設の維持管理費の増大や、教職員の指導体制・安全確保体制の負担増の傾向にあることを解決すべく、民間プールや民間の専門指導員の活用を提案いただきましたが、プール施設の丁寧な維持管理に努め、使えるまで使う現状維持の方針であると答弁しました。また、市民会館リハーサル室の予約制限緩和に関する要望については、前向きに検討する旨を答弁しました。

2点目、教科書の採択関連についてです。6月26日に大和町役場で開催された仙台管内教育委員会協議会総会・研修会にお出かけいただいた際、委員の皆様には採択計画書を承認いただきました。ありがとうございました。承認いただいた内容を本市の計画書として、先日、採択協議会に提出いたしました。7月4日に開かれた第2回仙台地区教科用図書採択協議会においても計画書どおり採択され、本日の会議では採択報告書を承認いただく議案を提出しています。

3点目、令和7年度スクールボランティア事業についてです。本年も一般社団法人岩沼市建設産業同友会による側溝清掃や除草などのボランティアが行われました。今年は市内4中学校が対象となりました。7月15日火曜日、台風5号が通過した後の断続的に雨が降る中ではありましたが、16時30分頃まで、側溝の清掃やベンチの補強、集水桝の清掃、石の処分など日常の範囲では難しい作業を行っていただきました。

私からは以上でございます。

一丸参事兼学校教育課長

学校教育課から4点御報告いたします。

1点目、学力向上推進委員会についてです。6月26日に今年度第1回目「学力向上推進委員会」を開催しました。この会議では、「自立した学習者の育成」を大きなテーマとして、子どもにメタ認知力を身に付けさせるための手立てや工夫の在り方について意見交換を行いました。最終的には、子どもたちが自分で選び、自分で決めて、学びを深めていくプロセスを可視化する「指標」の確立

を目指すことで一致しました。次回の開催は2月16日を予定しており、それまでに各校でこの指標を活用し、その成果や次年度に向けた方向性について協議することとしています。

2点目、夢☆あこがれ事業「劇団四季こころの劇場」についてです。この事業は、市内全小学校の5・6年生を対象に隔年で実施しているものです。今年度は「二人のロッセ」が上演されました。市民会館大ホールの座席数の関係で、今年は岩沼小学校を除く3校が7月1日に岩沼市民会館で、岩沼小学校は7月14日に名取市民会館で鑑賞しました。今後もこのような形での開催が見込まれます。参加した児童からは、物語の内容はもちろん、俳優の演技や表現力、迫力ある演出に感動したとの感想が多く寄せられており、本事業の目的が十分に達成されたものと受け止めております。

3点目、令和7年度全国学力・学習状況調査の結果公表についてです。7月14日月曜日に、今年度の全国学力・学習状況調査の全国平均の結果が公表されました。順位付けによる過度な競争を懸念する声もあり、文科省は今年度、公表の見直しを行っています。今後の予定としましては、7月31日に全国データに基づく文科省の分析結果の公表、8月以降に都道府県・指定都市別の分析結果の公表となっております。国や県の結果を受けて、市教育委員会では、結果の検証および分析を進め、授業改善や今後の教育施策の見直しに活用していく予定です。

4点目、学校における水道水の塩素濃度についてです。7月に入り、市内の学校で、猛暑の影響で水道水の残留塩素濃度が下がったため、念のため飲み水としての使用を控える対応を取りました。現在は夏休み中ですが、来校する保護者や児童生徒、職員には水筒の持参を呼びかけています。休み中も塩素濃度を確認しながら、適切な対応に努めてまいります。

私からは以上でございます。

渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

生涯学習課から、行事の報告2件と夏休み中の行事について報告いたします。

7月12日土曜日、岩沼市史講演会「岩沼・名取の山の辺の道、伝承東街道を探る」と題し、市史編纂事業の考古部会の調査執筆に携わっていただいた太田昭夫先生に御講演いただきました。東街道は名取・岩沼の西側山裾付近を通ると思われていますが、具体的なルートや歴史ははっきりとせず、謎が多い古道ということ、また身近な街道ということで大変興味を持たれている方が多く、参加者は73名と会場は満席となりました。最後の質問も、何人も途切れることなく有り、話題の尽きない大変興味深い講演会でした。

次に「早寝早起き朝ご飯啓発活動」について紹介いたします。岩沼市家庭教育支援チームが実施している啓発活動は、今年で3年目となります。今年度も市内小学校栄養士と一緒に、市内小学1年生全員を対象に、朝ご飯の大切さについて、大型絵話や早寝早起き朝ご飯体操など楽しいプログラムで実施しております。7月14日に南小、16日に岩小、17日に玉浦小で実施済み。また、夏休み明けの8月27日に西小での開催を予定しています。

続いて、生涯学習課の夏休み期間の行事についてです。

1点目、7月19日土曜日から20日日曜日の1泊2日で、今年も松島自然の家を会場に、ジュニアリーダー初級研修会を開催し、7名が受講いたしました。

2点目、今週7月26日土曜日、市民図書館を会場に、文化財体験イベント「土器ドキメモリー」を開催します。申込締切は本日までとはなりますが、昨年も好評だった土器の修復などの体験イベントとなります。

3点目、夏休みの恒例イベント「ミクロの世界をのぞいてみよう」を8月1日金曜日から3日日

曜日の3日間、市民図書館を会場に、電子顕微鏡体験を行う予定です。現在予約受付が好調で残りわずかとなっており、受付状況は市HP上で毎日更新しております。リピーターも多く、親子で名誉市民只野先生や電子顕微鏡について学ぶ機会です。

その他公民館講座でも夏休み期間に「親子DIY教室」「スパイスミックスワークショップ」「夢のお菓子の家づくり講座」「みんなの将棋教室」など多数の講座・教室を予定しています。

生涯学習課からは以上となります。

及川教育長

部長、課長から事務報告がありましたが、内容について御質問等ありましたらお願いいたします。

江里委員

先程、6月26日の学力向上推進委員会について伺いました。今年度からのスタートと聞いていますが、2回目が2月に予定されており、今後も年2回の開催を継続していくのでしょうか。

一丸参事兼学校教育課長

今年度は初めての取組であり、まずは「自立した学習者の育成」をテーマに、子ども達に何を根拠に指導するのか知るにはどうしたら良いかということを議論いたしました。一定の成果を検証するためには時間が必要なため、今年度は6月と2月の年2回開催の計画です。やってみた結果を踏まえて、今後の開催頻度や内容は調整していく方針です。

江里委員

委員会での議論内容は保護者にも共有されるのでしょうか。事業報告のような形で途中経過を目にできる機会があれば良いと思います。

一丸参事兼学校教育課長

現時点では、保護者への広報については検討しておりませんでした。

江里委員

この取組は、結果がすぐに出るものではないと思います。試行錯誤の過程や方向性を保護者にも伝えることで、学校だけが頑張っているのではなく、家庭でも学力向上に関わる意識が高まるのではないのでしょうか。途中経過の共有をぜひ検討していただきたいです。

一丸参事兼学校教育課長

御指摘ありがとうございます。保護者へも取組状況を伝えられるよう、情報発信の方法を検討いたします。

及川教育長

課長からは年2回の開催との説明がありましたが、その間にはワーキンググループが活動しており、授業研究や報告会、タブレット活用研修などを随時行っています。第2回委員会は総括的なものとして、大学教授や校長も加わる予定です。「自立した学習者の育成を目指して」と題した資料の中に、「保護者の皆様へ（お願い）」という項目がありますので、その内容と絡めながら、活動状況を保護者に伝えることが望ましいと思います。

一丸参事兼学校教育課長

はい、その点も含めて広報の仕方を検討いたします。

山田委員

議会で質問があった学校プールの維持や更新について伺います。現状、修繕費用は年間1,200万円程度かかっているとのことですが、老朽化の状況と今後の方針について教えてください。

遠藤教育部長兼市民図書館長事務取扱

学校のプールを更新すると2億円から3億円規模の費用がかかる見込みです。現状では、使用不可となっているプールはありません。基本的には、使える間は現行のプールを修繕しながら活用する方針です。もし壊れた場合は、隣接校のプールを共同利用する、グリーンピア岩沼のプールを借用するなど、複数の代替手段を検討しています。

及川教育長

名取市では小中学校のプールの老朽化が進み、水位が低下する現象が見られることから、市内にある民間プール2か所を活用して授業を実施していますが、全15校の水泳授業を民間施設で賄うことは難しいようです。岩沼市には民間のプールが無いので、修繕可能なプールは引き続き大切に使い、必要に応じて他校と共用するなど柔軟に対応していきます。現時点では、水泳授業を中止する計画はありませんが、今後プールの老朽化が進み、修繕が不可能になった場合は水泳の授業自体を行わないなど、授業のあり方について検討する必要がある可能性があります。

山田委員

グリーンピア岩沼のプールで授業を行うことは難しいのでしょうか。

及川教育長

グリーンピア岩沼のプール施設も老朽化が進んでおり、また、一般利用の方々との調整が難しいところですが、温水プールであることから年間を通して使用できます。今後も既存の施設をできるだけ長く使えるように維持管理しつつ、グリーンピア岩沼のプールとの調整も視野に入れて運営してまいります。

5番目の議事に入ります。議案第21号 令和8年度使用教科用図書の採択についてお諮りします。事務局より説明をお願いします。

一丸参事兼学校教育課長

本市教育委員会では、令和8年度使用教科用図書の採択計画書を提出しておりましたが、7月9日付で仙台地区教科用図書採択協議会会長より通知があり、資料のとおり採択された旨の連絡が届いております。文部科学省著作教科書、学校教育法附則第9条による一般図書のいずれも、本市教育委員会が提出したものがすべて採択されました。

つきましては、本日の定例教育委員会において、委員の皆様の御承認をいただきたく、よろしく御審議くださいますようお願い申し上げます。

及川教育長

議案第21号について質疑がございましたらお願いします。

各委員

(なし)

及川教育長

議案第21号について、御承認いただいでよろしいでしょうか。

各委員

(了承)

及川教育長

ありがとうございます。御承認いただいたことを教科用図書採択協議会事務局に報告させていただきます。

6番目のその他に入ります。まず、事務局から連絡をお願いします。

遠藤教育部長兼市民図書館長事務取扱

事務局から3点お知らせいたします。

1点目、令和7年度の「宮城県教育委員会・市町村教育委員会教育懇話会」が県域別に開催されることとなっており、教育長と教育長職務代理者に出席依頼が届いております。日程は8月18日月曜日の15時から16時30分、会場は県庁2階講堂となっております。後ほど、出欠の御確認をさせていただきたいと思っております。

続いて仙台管内教育委員会協議会に関する事項です。6月26日に開催された総会・研修会に御参加いただきありがとうございました。

この件で、協議会事務局から「研修会の一本化」について意見を求める連絡がありました。現在は年2回、6月の総会后と翌年2月に研修会を実施していますが、今後は総会時（6月）に一本化してはどうかという提案です。

これは、次の2つの理由から来ております。1つ目は教育委員の皆様の負担軽減。多くの委員が日常の仕事を持ちながら、定例会や学校行事などに参加しておられます。さらに複数の協議会の役職を兼務する方もいて、日程調整が困難との声が上がっています。2つ目は事務局の負担軽減。開催自治体と実際の研修会場が異なる場合の準備や調整が煩雑で大きな負担となっております。いずれも、社会情勢の変化や新しい時代に合わせた形で、事務の簡素化や予算とマンパワーの集約化といった点で、協議会運営を見直していく必要があるというのが根っこでございます。

このような理由から、時代に即した合理的な形で研修会を1回に集約することについて、各市町村教育委員会から御意見を伺いたいとのことです。

及川教育長

研修会を一本化することで、講師にかかる予算を1回に集中させることができると思います。また、市であれば事務局職員数がそれなりにいますが、町や村では人員が少ない中で企画・運営するのは大変だということもあります。6月の総会時であれば人の集まりも良いので、その1回に集中させてはどうかとの提案です。

南館職務代理者

今のお話を伺って、背景や事情がよく理解できました。これまでの開催効果を考えると、一本化することで問題のないものと思います。

山田委員

2回目の研修に参加しましたが、実際、さほど重要な案件や講演があったわけでもなかった印象です。総会時の研修に重点を置く方向でよいのではないかと、個人的には思います。

及川教育長

岩沼市としては、春の総会時の研修に一本化することで承認したいと思っております。今まで、2回目に行われていた研修会の良いところを1回の研修会に引き継ぎ、集中していきましようということで協議会事務局に報告したいと思っております。ありがとうございます。

遠藤教育部長兼市民図書館長事務取扱

3点目として、今後の教育委員会開催予定についてです。第8回定例会は、8月21日木曜日、13時30分から、第9回定例会は、9月18日木曜日、13時30分からを予定しております。この日程で調整可能か御確認いただければと思います。

江里委員

私は、8月21日の出席が難しいです。可能であれば日程再調整をお願いしたいですが、他の皆さんの予定が合うようであれば、このままでも構いません。

南館職務代理者・山田委員

8月21日、9月18日ともに問題ありません。

遠藤教育部長兼市民図書館長事務取扱

ありがとうございます。8月21日で日程が合わない方がいらっしゃることは承知しましたが、9月2日の議会開会に向けた資料提出の関係もあり、8月21日開催で進めさせていただければと思います。何卒御理解いただければと思います。

及川教育長

委員の皆様から連絡等ございましたらお願いします。

山田委員

6月に教科書の閲覧会へ行ってきました。その際に感じたことですが、特別支援学級に在籍する児童生徒への教科書配付について確認したいことがあります。通常学級では、例えば6年生には6年生用の教科書を配付しますが、知的障害のある子の場合、まずは当該学年の検定教科書を検討し、難しい場合は下の学年の教科書を使用します。さらにそれでも難しい場合は、文部科学省の基準に適合する特別支援用の教科書を用いるという流れになっていると理解しています。ただ、特別支援学級の子が音楽や図工などで通常学級と交流して授業を行う場合には、当該学年の教科書を使用していることがあります。岩沼市では、科目ごとに、障害の程度や交流の実態に合わせて教科毎に教科書を選んでいるという認識でよいでしょうか。

及川教育長

おっしゃる通りです。特別支援学級の児童生徒については、音楽や図工など通常学級と交流して学ぶ教科ではその学年の教科書を使用し、国語や算数などは文部科学省基準の特別支援用教科書を使うといった形で、科目ごとに適切な教科書を配付しています。

山田委員

チームによる学級担任制、それから小学校高学年における教科担任制についてお話ししたいと思います。導入を求めるといわけではありませんが、どのように考えているのかお聞きしたいと思います。

今年度、市内のある中学校でチーム担任制を試行しており、その効果を現在検証中と聞いています。この新しい取り組みは、1人の担任が全てを抱えるのではなく、複数の教員がチームで生徒を見ていくものであり、生徒指導面で非常に大きな効果が期待できると思います。今年度末には、効果や課題が整理されると思いますが、例えば課題としては、病気の生徒がいた場合に、その情報が翌日の担当教員に正確に引き継がれるかといった点があるでしょう。

また、小学校高学年への教科担任制の導入についても考えを伺いたいです。中学校の教科担任制と小学校の学級担任制の違いは「中1ギャップ」の一因とも言われています。この課題を解消する方法として、小学校高学年にチーム担任制、教科担任制を導入することが話題になっています。

ここからは、教員の立場からお話いたします。まず、小学校高学年の担任の負担は非常に大きいです。中学校1年生の数学副担と小学6年生の担任を想像していただければ分かりやすいと思います。中学校の教員は専門教科を担当しますが、小学校6年生の担任は、算数を含む10教科を学級

担任として週29コマを担当します。実際には29コマ全てではないにしても、負担は非常に重いです。この負担を軽減するために、現場では様々な工夫がなされてきました。例えば、体育や家庭科の授業を他教員と交換したり、理科の授業準備が負担になりやすいことから、国の施策で理科支援員が配置されたこともあります。また、教頭や主幹教諭が授業の一部を担当するなどの対応も取られています。さらに、国は小学校高学年に教科担任制を導入するため、専科教員を配置する施策を進め、導入事例集も配布しています。4年生への教科担任制拡大も検討されているようです。ただし、専科教員の数には限りがあるため、国は教科担任制の目的に応じた活用をすることを求めています。

このように、教科担任制は「中1ギャップ」の解消策であり、また小学校高学年担任の負担軽減策としても注目されています。岩沼市で教科担任制について考えていることがあればお聞かせください。

一丸参事兼学校教育課長

現状ですが、算数や理科、外国語の一部教科で教科担任制を導入している学校があります。加配申請をして、チーム担任的な運営をしている例もあります。これまでもそうした試行を続けており、今後は現場での実践や必要性を踏まえて具体的な方針を固めていく考えです。

及川教育長

既に教科担任の加配はいただいて運営しています。昨年より年間の授業計画を40週で作成し、5年生6年生の担当コマ数を週25コマ程度まで削減するよう工夫を進めています。ただし、チーム担任制や教科担任制は導入したからといって必ず成果が出るわけではありません。大切なのは、1人で学級を運営できる力量を持つ教員が複数集まり、相互に補完し合うことでより高い効果を生むことだと思います。まずは1人の担任としての力量を高めていきたいと思います。

以上のことから、教科担任制やチーム担任制の導入は、現場の負担軽減と教育の質向上の両面から成果を見極めながら、引き続き検討する価値があるものと考えています。

以上を持ちまして、令和7年第7回岩沼市教育委員会定例会を閉会いたします。

(午後2時40分閉会)

この会議録の作成者は、次のとおりである。

学校教育課課長補佐兼教育総務係長 山下 真理子

上記記録の正確なることを認め、ここに署名する。

令和7年8月2日

会議録署名委員

江里 美穂子

会議録署名委員

及川 浩市

